

製品名: TLK1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18981**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	87kDa

抗原情報

遺伝子名	TLK1
別名	TLK1; KIAA0137; Serine/threonine-protein kinase tousled-like 1; PKU-beta; Tousled-like kinase 1
遺伝子 ID	9874.0
SwissProt ID	Q9UKI8
免疫原	抗血清はヒト TLK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

背景

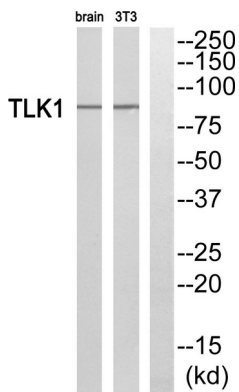
TLK1によってコードされるセリン/スレオニンタンパク質キナーゼ (Tousled-like 1) は、クロマチン構築の制御に関与する可能性の

あるセリン/スレオニンキナーゼです。コードされているタンパク質はリン酸化を受けた場合にのみ活性化し、このリン酸化は細胞周期依存的に起こり、S期に最大活性を示します。このタンパク質の触媒活性は、DNA 損傷および DNA 複製の阻害によって低下します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。

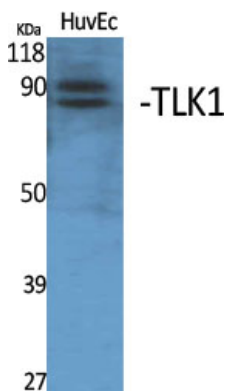
研究分野

-

画像データ



TLK1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは TLK1 ペプチドでブロックされている。



TLK1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。